

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 4ク ォーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 1, 火 / Tue 2
開講期間 / Class period	2017/11/28 ~ 2018/01/30		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20170586020901	科目番号 / Subject code	05860209
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMA 13711_005		
授業科目名 / Subject	核兵器のない世界を目指して (核兵器とは何か) / Basic Guide to Nuclear Weapons		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	中村 桂子 / Nakamura Keiko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	中村 桂子 / Nakamura Keiko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	中村 桂子 / Nakamura Keiko		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育B棟44 / RoomB-44		
対象学生 (クラス等) / Object Student	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	nakamurak nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	核兵器廃絶研究センター2F		
担当教員TEL/Tel	095-819-2865		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日3限 (12:50?14:20)		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	このクラスでは、核兵器廃絶への道筋を考える際に不可欠な基礎知識として、核兵器の歴史と現状を総合的に俯瞰していきます。具体的には、核兵器とはいかなる特徴を持つ兵器か、世界の国々は核兵器をめぐるどのような政策をとってきたのか、いかなる軍備管理・軍縮努力が行われてきたのか(あるいはこなかったのか)といった点を学びます。		
授業到達目標/Goal	核兵器をめぐる歴史と現状についての基本的な知識を得るとともに、核兵器のない世界の実現に向けた課題が何かを理解し、解決への具体的方途について学生一人一人が自分の考えを説明できるようになることを期待します。		
授業方法 (学習指導法) /Method	授業は基本的に配布資料に基づく講義形式ですが、リアクションペーパーなどを通じて、学生が主体的に自分の意見を組み立て、表現する機会を持てるようにします。また、授業の中では、国連文書や各国の外交政策文書など、国際社会のさまざまな場面で用いられた軍縮・軍備管理・安全保障に関する文書を読み解くことを通じて、学生一人一人が核兵器をめぐる最新の世界の動きに触れるとともに、そのダイナミズムを感じ取れるような授業を行います。受講人数にもよりますが、少人数グループに分かれてのディスカッションも予定します。		
授業内容/Class outline/Con	講義は、核兵器をめぐる現代世界の在り様、すなわち60年以上も続く核兵器を構造化した国際社会の実態を理解していくことから始めます。その具体的な検証として、まず広島・長崎への原爆投下の実際を含む核兵器の効果を振り返りながら、核兵器がどのような特性を持つ兵器か、各国の安全保障政策においていかなる役割を担ってきたのかを考えていきます。米国、ロシア、フランス、イギリス、中国、インド、パキスタン、イスラエル、北朝鮮といった核兵器を保有する国々の実態はどのようなものか、そしてその背景にある論理は何かを知るとともに、日本をはじめとする「核の傘」に依存する国々の現状とその論理も見えていきます。核軍縮・軍備管理に関するさまざまな国際的な枠組みとその課題についても概観します。国際社会の努力の実例として、「非核兵器地帯」など、核兵器に依存しない安全保障の枠組みの実際を学びつつ、近年の核兵器のない世界に向けた具体的な動向についても学んでいきます。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word	核兵器、軍備管理、軍縮、抑止		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	参考書：梅林宏道『非核兵器地帯??核なき世界への道筋』(岩波書店)1,890円		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	出席点および講義の際のリアクションペーパー、意見発表などの平常点が全体の60%、期末レポートが40%です。		
受講要件 (履修条件) /Requirements	全回出席が原則。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談ください。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	核兵器廃絶は可能でしょうか?。答えは「あなた次第」です。核兵器の問題を切り口に、人権問題や環境問題といった人類共通の課題に対し、一人一人の個人がどのように関与していくことができるのか、この授業を通じてぜひ考えてみてほしいと思います。授業で皆さんにお会いできることを楽しみにしています。		
授業計画詳細 / Course Schedule			

回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	授業の進め方について 現代における核兵器??政治と軍事を俯瞰する
第2回	核兵器の誕生とその特性??核時代の始まりから広島・長崎まで
第3回	核兵器の非人道性??被爆者の体験から
第4回	核兵器の非人道性??核実験の影響など
第5回	米国とロシアにおける核兵器体制?
第6回	米国とロシアにおける核兵器体制?
第7回	「核の傘」に依存する国々の論理
第8回	フランス、中国、イギリス、インド、パキスタン、イスラエルの核兵器とその論理
第9回	核不拡散体制の現状と課題
第10回	日本の核政策
第11回	世界の非核兵器地帯
第12回	北朝鮮の核問題
第13回	「核兵器のない世界」に向けた取り組み?
第14回	「核兵器のない世界」に向けた取り組み?
第15回	まとめ：核兵器廃絶に向けて「私たちにできること」
第16回	

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 1, 火 / Tue 2
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2017/11/21		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20170586021301	科目番号 / Subject code	05860213
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMA 13721_005		
授業科目名 / Subject	核兵器のない世界を目指して (国際社会と平和) / Peace and International Society		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	近江 美保 / Miho Omi, 中村 桂子 / Nakamura Keiko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	近江 美保 / Miho Omi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	近江 美保 / Miho Omi		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育B棟44 / RoomB-44		
対象学生 (クラス等) / Object Student	多文化、教育、経済、薬学、水産学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	mihoomi nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	総合教育研究棟10階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2917		
担当教員オフィスアワー/Office hours	初回の授業でお知らせします。		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	「核兵器」はなぜ生まれ、今も維持されているのか。その背景にある国際社会の仕組みや「平和」を実現するための様々な取組みについて学び、現代のグローバルな社会における平和とは何かを多様な視点から考えます。		
授業到達目標/Goal	?国際社会の特徴とそれを支えてきた考え方を理解すること、?国際社会をより平和にするためのこれまでの試みについて理解すること、?それらの知識をもとに、核兵器をとりまく国際社会のあり方について、自分なりの考え方を構築し、自分の言葉で説明できるようになること、を旨とします。		
授業方法 (学習指導法) /Method	授業は、講義に、グループディスカッションやディベート、映像資料の視聴等を交えつつ進めます。また、毎回、授業の最後にリアクションペーパーを書いてもらうことにより、学生の疑問点や感想も授業に活かしていきたいと考えています。教科書は授業の基礎となるものですが、実際の授業では、教科書の内容を踏まえつつ、時事問題や関連する問題へと内容を広げていきます。したがって、教科書の該当部分は全員が読んでいることを前提に授業を進めますので、教科書の指示された部分は、必ず授業前に読んでおいてください。自分で新聞を読んだり、気になったことを調べてみたりすることも重要です。		
授業内容/Class outline/Con	戦争・紛争と平和を軸に、国際社会/グローバル社会とは何かを見ていきます。まず、国際社会のルールとしての国際法や、世界の平和と安全を維持することを目的として創設された国連の仕組みなどの基礎知識を学び、その後、現代の戦争・紛争とはどういうものか、平和とは何かを考え、平和を実現するための課題と取組みについて、様々な側面から考えていきます。なお、授業スケジュールについては、進行状況を考慮して、調整を行う可能性があります。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習：教科書の指定された部分を読む。教科書の中でわからなかった用語や関連する問題について、自分で調べておく。 事後学習：授業中に配布された資料を読み返し、授業の内容とともに復習をする。自分が興味を持った問題について、図書館やインターネットで調べ、自分の考えをまとめる。		
キーワード/Key word	国際社会、平和、紛争、国連、国際法、安全保障、人権		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	テキスト：最上敏樹『いま平和とは』岩波書店 参考書：アマルティア・セン『人間の安全保障』（集英社）、ヨハン・ガルトゥング『構造的暴力と平和』（中央大学出版部）、篠田英朗『平和構築入門』（筑摩書房）、君島東彦・名和又介・横山治生編『戦争と平和を問いなおす』（法律文化社）、日本平和学会編『平和を考えるための100冊+』（法律文化社）。その他の参考書については授業の中で随時紹介します。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	出席、ディスカッション等への参加、リアクションペーパーの提出等平常点：40%、期末レポート：60%。レポートの採点においては、?課題に対して明確に答えているか、?授業及び文献調査等に基づき、自分の意見を述べる事ができているか、?意見が論理的に展開されているか、を基準とします。		
受講要件 (履修条件) /Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	現在の国際社会/グローバル社会は、どのように作られ、どのような仕組みを持ち、どのような問題を抱えているのでしょうか。また、それらは核兵器の存在や「平和」と、どう関係しているのでしょうか。私たち一人ひとりも、国際社会の一部です。「国際社会と平和」というテーマについて、「自分とどう関係しているか、自分はどうか考えるか」を考えるきっかけを、この授業でつかってください。		

授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	はじめに：授業の進め方について 「国際社会」とは何か(1) (テキスト「はじめに」)：「国際社会」と「平和」について学ぶとは
第2回	「国際社会」とは何か(2)：国際社会、国際法、国際社会とグローバル社会
第3回	国際社会と武力紛争(テキストpp.1-23)：人間と戦争、冷戦・「新しい戦争」・テロと対テロ戦争
第4回	国連と武力紛争(1) (テキストpp.25-31)：国連とは何か、武力行使の禁止と平和的紛争解決
第5回	国連と武力紛争(2) (テキストpp.31-55)：国連による試み、集団安全保障と平和維持活動
第6回	「平和」とは何か(テキストpp.89-108)：軍事的安全保障と人間の安全保障、消極的平和と積極的平和
第7回	武力紛争と国際法(1) (テキストpp.57-87)：国際人道法と国際刑事法武力紛争と国際法
第8回	武力紛争と国際法(2)：国際刑事裁判所、旧ユーゴスラビア紛争、『コーリング・ザ・ゴースト』視聴
第9回	「平和」とは何か(テキストpp.109-129)：「人道的」な武力行使？
第10回	人間と平和を守る方法：グループディスカッションとディベート
第11回	国際社会と核兵器(1) (テキストpp.149-166)：「使えない兵器」の価値、「殲滅の思想」と核兵器
第12回	国際社会と核兵器(2)：『風が吹くとき』視聴
第13回	市民社会と人権(テキストpp.131-148)：「市民」とは何か、NGOの役割
第14回	人間と平和(テキストpp.168-196)：和解は可能か？「開かれている」ということ
第15回	隣人との平和(テキストpp.199-214)：グローバル社会の中の「隣人」「私」「平和」を考える まとめのディスカッションまたはディベート
第16回	レポート提出

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 4ク ォーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 1, 月 / Mon 2
開講期間 / Class period	2017/11/28 ~ 2018/02/05		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20170586021701	科目番号 / Subject code	05860217
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMA 13731_005		
授業科目名 / Subject	核兵器のない世界を目指して (被ばくと社会) / Exposed to Radiation and Society		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	鈴木 達治郎 / Suzuki Tatsujiro, 奥野 正太郎 / Okuno Shotaro, 平野 伸人 / Nobuto Hirano, 桐谷 多恵子 / Taeko Kiriya, 中村 桂子 / Nakamura Keiko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	鈴木 達治郎 / Suzuki Tatsujiro		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	鈴木 達治郎 / Suzuki Tatsujiro, 奥野 正太郎 / Okuno Shotaro, 平野 伸人 / Nobuto Hirano, 桐谷 多恵子 / Taeko Kiriya, 草野 十四朗 / Jyushiro Kusano		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育B棟44 / RoomB-44		
対象学生 (クラス等) / Object Student	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	suzukitatsu nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	核兵器廃絶研究センター (RECNA)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2947		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜 17:00-19:00		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	長崎における原爆被爆の歴史、報道に見える社会への影響、被爆体験継承の現状を基礎知識として 学び、被爆体験継承における問題点について、考える力を養う。		
授業到達目標/Goal	?原爆の歴史を理解できる ?体験継承の歴史を理解できる ?報道における社会の動きを理解できる ?歴史や社会の動きを基礎知識として体験継承における問題点を考えることができる。		
授業方法 (学習指導法) /Method	4人の講師がそれぞれの専門分野から見た被爆と社会について解説する。学生はそれを受けて、各 自の考えを述べあい、まとめる。		
授業内容/Class outline/Con			
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word	原爆、報道、被爆体験継承		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	授業計画に沿って、パワーポイント、ビデオを使用し、プリント、資料を配布する。参考書は紹介 する。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	出席20、課題20、意見交換20、最終レポート40。なお講義の順番は変更になることがある 。		
受講要件 (履修条件) /Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的 障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートに ついては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下 さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	自分で調べ、積極的にグループワークに参加しよう。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	被ばくと社会の概要：鈴木達治郎		
第2回	原爆と歴史(1)：奥野正太郎		
第3回	原爆と歴史(2)：奥野正太郎		
第4回	原爆と歴史(3)：奥野正太郎		
第5回	歴史に関するまとめ(学生の意見交換)：鈴木達治郎		
第6回	報道に見える被ばくと社会(1)：橋場紀子		
第7回	報道に見える被ばくと社会(2)：橋場紀子		
第8回	報道に見える被ばくと社会(3)：橋場紀子		

第9回	報道に関するまとめ；鈴木達治郎
第10回	平和教育について（1）；草野十四郎
第11回	平和教育について（2）；草野十四郎
第12回	平和教育について（3）；草野十四郎
第13回	継承に関するまとめ；鈴木達治郎
第14回	長崎の復興について；桐谷多恵子
第15回	まとめ（学生の意見交換）；鈴木達治郎
第16回	予備